

市民協働の推進をめざして まちづくりフォーラムを開催



▲さらなる協働の推進に向けて、活発に意見が交わされました

市は先月11日、「おいしい！三原くろう！探そう！まちの魅力」をテーマに、市民協働のまちづくりフォーラムを開催しました。約170人が来場し、どうすればもっと地域を元気にできるのか、活動団体の発表をもとに登壇者と会場参加者との間で、活発な意見交換が行われました。

事例発表では、中之町下町内会会長の竹原茂さん、本郷緑と水を守る会代表の中分孝さん、久井！さわやか高原祭り実行委員長の岡富雄さん、農事組合法人ファーム萩原代表理事の東谷憲男さんの4人が、それぞれの活動や課題などを報告。続いて行われた意見交換では、「若い人に活動へ参加してもらうためには、年長者がきっかけを作ることが大切」活動自体が目的ではな

く、その活動に人が集うことに意味がある」などの意見が出ました。

その中で、ひろしまNPOセンター センター長の中村隆行さんは、今後の協働のあり方について「行政とNPOの 一対一ではなく、町内会やサービスを 受ける人、企業など関係者が総合的に 連動する『総働』の考え方が重要」と指 摘しました。

まとめとして、サステナブル地域づ くりセンター・HIROSHIMA理事の薦 田直紀さんによるアドバイス講座が行 われ、「先進事例は大都市だけのもの はない。もう一度、自分たちの地域を 自分たちの手でデザインしてほしい」と の助言がありました。

市では、フォーラムの開催などを通 じて組織間のネットワーク作りを支援 し、市民協働のまちづくりを一層推進 していきます。

☎まちづくり推進課
☎0848・67・6184

佐木島に 地域おこし協力隊が着任

市は先月16日、佐木島(鷺浦町)で活 動する「地域おこし協力隊」を林益永さ んに委嘱し、隊員となった林さんは同 日から活動を開始しました。
天満市長から委嘱状を受け取った林

救援物資の供給で生協ひろしまと協定

市は先月17日、災害時に食料や生活必需品などの供給を受ける協定を生活協同組合ひろしまと結びました。生活協同組合は独自の配送ルートを持っているため、救援物資を避難所へ迅速に届けることができると期待されます。

物資供給についての協定はこれが4件目です。市では今後も災害に備えて対策を進めます。

●防災イベント●

いのちを守る「防災体験」～今すべきこと～ 参加費無料

万が一の災害に備え、防災体験会を実施します。

と き 3月2日(日) 10時～13時

と ころ 第三中学校

内 容 講演「南海トラフ巨大地震ー今すべき備えー」、消 火訓練、各種 展示、炊き出 し体験など
※親子で参加で きます。



▲昨年の体験会のようす

さんは、「まず佐木島に興味を持ってもらい、来てもらうことを最優先に活動したい」と意気込みを語り、天満市長も「若い力で地域を活気づかせてください」と激励しました。
市の地域おこし協力隊は、昨年5月 から大和町で活動する唐井ゆかりさん に続く2人目。林さんは広島市出身で、 最長3年の任期で活動します。
林さんは今後、住民団体と連携して イベントの企画などを行い、観光・交流 の推進や定住促進などに取り組みますので、支援と協力をお願いします。



▲天満市長から激励される地域おこし協力隊の林 益永さん

☎政策企画課
☎0848・67・6011

☎危機管理室 ☎0848・67・6066